

7/5 県南教育事務所・宮古教育事務所管内 「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム

7月5日は県内2つの会場でフォーラムが開催されました。

宮古教育事務所のフォーラムは、山田町立豊間根小学校副校長・熊澤裕樹氏、同校PTA会長・阿部智幸氏、岩泉町立小川中学校副校長・本多準一郎氏、同校元PTA副会長・竹花千枝美氏による実践発表とパネルディスカッションを開催しました。

パネルディスカッションでは、文部科学省CSマイスター・野澤令照氏にコーディネーターを務めていただき、パネリストと参加者で、学校と地域がつながるよさや、学校と地域が同じ思いで活動するためのポイントについて学びを深める等、実りのあるフォーラムとなりました。

野澤 令照氏から

- ・豊間根小学校の取組のよさは、教育振興運動を土台とした社会総がかりの教育が展開されていることである。
- ・小川中学校の取組のよさは、地域ぐるみの子育てであり、地域貢献する人材の育成につながる。



宮古教育事務所 参加者の感想（抜粋）

- ・豊間根小の取組は、教育振興運動からコミュニティ・スクールへの移行の流れが分かりやすく、学校運営協議会のねらいと地域活性化に向けた活動が明確で大変参考になった。
- ・豊間根小、小川中の実践は、育てたい子ども像を共有することからスタートし、達成のために学校と保護者がそれぞれの立場からできることをつないで取り組んでいることが参考となった。
- ・「子どもを真ん中に、大人がチームになること」ができるように関わっていききたい。



県南教育事務所 参加者の感想（抜粋）

- ・既存の活動（教育振興運動、学校支援など）を利用しながらうまく進められている例を知ることができた。
- ・本校でも願いを共有し、成果を生み出すCSに変えていきたい。そのためにも「熟議」をまずやってみたい。
- ・支援学校は学校がある町に住まいが無い場合もあるので、地域をどこに想定するかも含め、熟議を通じて見直す機会にしていきたい。

県南教育事務所のフォーラムは、秋田県生涯学習センター社会教育主事の皆川雅仁氏による講演とパネルディスカッションを開催しました。

パネルディスカッションでは、平泉町立平泉小学校長・大森巨氏と平泉町立長島小学校長・瀧野澤公美氏、平泉町立平泉中学校長・小田島達哉氏、平泉町教育委員会事務局主任兼社会教育主事・安倍雅人氏をパネリストとして、地域学校協働活動の充実について、先進地区の情報提供を通して学びを深めることができました。

皆川 雅仁氏から

- ・学校は、地域と横並びになって、学習活動を提供する姿勢を示すことが大切である。
- ・地域は、学校とともに子どもたちを育て、地域づくりに生かしていく必要がある。
- ・地域と学校が連携するために必要なツールがコミュニティ・スクールであり、その推進を後押しするのが「熟議」である。

